



俳句ゆめクラブ会報

2022年5月24日

第 144号

「吟行」 古河・公方公園

暑くもなく寒くもなく絶好の吟行日和、平日の為人も少なく、のんびりと散策しそれなりに句作を楽しむことが出来た。

このような公園がある事は全く知らなかったが訪ねてみると歴史ある場所にしては親しめる感じで近所の奥さんが子供を乳母車に乗せているのを何回も見た、それ程気軽に行ける場所なのである。

「句会」管理棟 展示室 12時～13時40分

梅田先生の句

蓮浮葉この広き沼埋め尽し
つまみたし珠のやうなる草莓
うさんくささうな声挙げ牛蛙

梅田先生選

夏立ちておほらかに枝伸ばす木々
歴史ある地名碑数多風薫る
川蟬の水面飛び立ちさつと消え
万緑や木々それぞれの日に光り
若葉風古河公方墓所森閑と
てんとむし袖から腕へ又袖へ

浅見法子
八千代幸男
瀬戸川公子
浅見法子
瀬戸川公子
小林健一郎

にぎりめし頬張る四阿風薫る

夏めくやことに孔雀の玉模様

日に紅く犇めきあつてつつじ咲く

万緑の静けさ鳥の声高く

睡蓮の眩しきほどの白さかな

富士見塚万緑の中登り切り

しゃぼん玉追ひかける子を母が追ふ

《入選》

下草を刈る音耳につく薄暑

足利の公方の墓に青葉風

純白の睡蓮映ゆる水面かな

クロバーの絨毯のごと野原かな

孔雀鳴く若葉茂れる古河公園

新緑をまとへる大榎かな

度肝抜く孔雀の声や夏来る

十葉や白き光を広げたる

日の光りきらきら紡ぐ青葉風

寂とせる公方御所跡薄暑かな

睡蓮の窮屈さうに咲いてをり

漣の池飛ぶ塩辛トノボかな

睡蓮の優雅なる風まとひたる

水音の清き流れや夏は来ぬ

競へるが如く輝く睡蓮花

木陰をば歩く家鴨や青葉風

浅見法子
吉澤愛子
大井昭子
小林健一郎
瀬戸川公子
宮島昭夫
鈴木幸恵
長澤輝子
岩松忠子
岡田時雄
宮島昭夫
大井昭子
小林健一郎
宮島昭夫
岡田時雄
岩松忠子
大井昭子
長澤輝子
宮島昭夫
鈴木幸恵

とうとうと湧き出づる水若葉風
前後して夫婦の歩く薄暑かな
そよそよと芝原を薙ぐ若葉風
新緑に囲まれ明るき古河公園

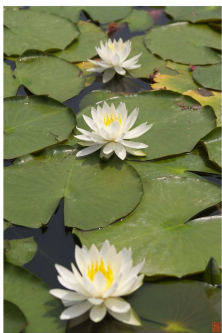
岡田時雄
岩松忠子
吉澤愛子
八千代幸男

互選

夏立ちて木々おほらかに枝伸ばす (3票) 浅見法子
蓮浮葉この広き沼埋め尽し (4票) 梅田ひろし
万緑や木々それぞれの日を抱き (6票) 浅見法子
静寂の公方御所跡薄暑かな (3票) 宮島昭夫
万緑の静けさ鳥の声で増す (4票) 小林健一郎
うさんくささうな声挙げ牛蛙 (4票) 梅田ひろし
しゃぼん玉追ひかける子に若葉風 (3票) 鈴木幸恵

「決定事項・連絡事項」

・次回句会 6月28日(火) 13時より
県活201号セミナー室 (当番:浅見、岩松)
兼題「梅雨晴間」
他に自由題で二句、合計三句提出のこと。



・本日は12名全員出席

(小林健一郎記)